

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 1）

公 施 設 の 名 称		市営駐車場（新尾道駅南、新尾道駅北、新尾道駅北第二、東尾道駅前）			
所 在 地		尾道市栗原町9350番地10、尾道市栗原町9429番地1、尾道市栗原町9429番地4、尾道市高須町4748番地8			
指 定 管 理 者	団体名	おのみちバス株式会社			
	所在地	尾道市東尾道18番地1			
指 定 期 間		令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日			
選 定 方 法		○	公 募		非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金		使用料(市へ直接収納)
評 価 年 度		指定期間	5	年のうち	5 年目
施 設 設 置 目 的		駐車料金を徴収する自動車駐車場			
主 な 実 施 事 業		利用料金の徴収、施設の管理及び運営、施設及び設備の維持管理			

2 利用状況（目標と実績）

[illegible]

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	0	0	0	0	0	0
	利用料金収入	B	28,853	41,850	49,646	54,292	56,284	57,311
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	3	2	48	76	91	0
	収入計(A～Dの計)	E	28,856	41,852	49,694	54,368	56,375	57,311
支出	指定事業費	F	29,457	41,853	51,917	56,508	58,279	51,915
	内、人件費	G	3,753	3,808	3,885	3,900	4,106	4,200
	内、修繕費	H	858	271	66	221	804	400
	内、再委託料	I	4,050	4,081	5,158	4,711	4,496	4,634
	内、施設使用料	J	17,694	30,018	40,238	45,001	46,000	44,302
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F+K)	L	29,457	41,853	51,917	56,508	58,279	51,915
使用料収入(市へ直接収納)		M	0	0	0	0	0	0
減免金額		N	0	0	0	0	0	0
事業収支		E-L	-601	-1	-2,223	-2,140	-1,904	5,396
利用料金収入比率		B/E	100.0%	100.0%	99.9%	99.9%	99.8%	100.0%
人件費比率		G/L	12.7%	9.1%	7.5%	6.9%	7.0%	8.1%
使用料収入比率		M/*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率		N/*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・*1は、 $(E + M)$ とする。
- ・*2は、 $(B + N)$ 又は、 $(M + N)$ とする。

○補足説明
(必要に応じて記述)

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法令遵守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再委託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管理運営記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利用料金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個人情報保護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情報公開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安全管理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊急時対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《総括》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛生管理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利用者対応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事業運営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広報活動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《総括》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収支状況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経費縮減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財務状況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《総括》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	3	回
		管理運営協議回数	17	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価)		
	利用台数・料金ともに前年度を上回りました。定期利用者の維持に加え、一般利用が増加したことが要因です。背景には、JR利用の堅調な推移に伴う駐車場の利用増、マツダスタジアムでの試合時の活発な利用があります。さらに、コロナ禍後の人流回復や観光客増加も利用者数を押し上げたと推測されます。 環境整備面では、東尾道駅前駐車場への花壇設置や、定期的な修繕・清掃・剪定を行い、清潔で利便性の高い施設づくりに努めました。 また、JR新尾道駅での北海道・九州物産展の開催に合わせて自社HPやSNSで情報を発信し、イベントの周知を通じて、来場者による新尾道駅駐車場の利用促進と有効活用を図りました。		
	(所管評価)		
	観光需要の取り込みや定期利用者数の維持、緊急時の迅速な対応によって駐車場利用者が使用しやすい環境づくりに努めたことにより、コロナ禍以降料金収入及び利用者数の回復傾向を維持している。 修繕及び管理作業についても、利用者の不便が生じないよう遅滞なく実施されており、適切な運営が行われている。 また、新尾道駅での物産イベント開催により駐車場の利用を促す等、新幹線利用者のみに頼らない新たな需要の掘り起こしを模索している点も評価できる。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 2 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市営駐車場（ベルポール、尾道駅前）			
所 在 地		尾道市東御所町1番19号、尾道市東御所町879番地			
指 定 管 理 者	団体名	尾道駅前都市開発株式会社			
	所在地	尾道市東御所町1-18			
指 定 期 間		令 和 3 年 4 月 1 日 ～ 令 和 8 年 3 月 31 日			
選 定 方 法			公 募	○	非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金		使用料(市へ直接収納)
評 価 年 度		指定期間	5	年のうち	5 年目
施 設 設 置 目 的		尾道駅及びしまなみ交流館周辺の駐車場整備			
主 な 実 施 事 業		駐車場の管理運営			

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	駐車場利用料	千円	47,300	47,605	46,130	53,886	48,900	47,359	32,350	39,348	47,465	42,819	42,078	
②														
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	0	0	0	0	0	0
	利用料金収入	B	47,605	53,886	47,359	39,348	42,819	42,078
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	0	0	0	0	0	0
	収入計(A～Dの計)	E	47,605	53,886	47,359	39,348	42,819	42,078
支出	指定事業費	F	48,253	53,595	47,701	39,503	45,431	41,275
	内、人件費	G	2,886	2,893	2,774	1,659	1,664	1,664
	内、修繕費	H	300	693	2,847	569	395	1,000
	内、再委託料	I	6,176	6,301	6,364	6,146	8,587	8,845
	内、施設使用料	J	35,800	40,261	33,145	29,334	32,147	27,771
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F＋K)	L	48,253	53,595	47,701	39,503	45,431	41,275
使用料収入(市へ直接収納)		M	0	0	0	0	0	0
減免金額		N	0	0	0	0	0	0
事業収支		E－L	-648	291	-342	-155	-2,612	803
利用料金収入比率		B／E	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人件費比率		G／L	6.0%	5.4%	5.8%	4.2%	3.7%	4.0%
使用料収入比率		M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率		N／*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を記入しているため合計額とはならない。		
・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。		
・着色セルは、自動計算としている。		
・*1は、(E＋M)とする。		
・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。		
○補足説明 (必要に応じて記述)		

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法令遵守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再委託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管理運営記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利用料金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個人情報保護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情報公開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安全管理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊急時対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛生管理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利用者対応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事業運営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	—	—
	広報活動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	B	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設8項目】	A	A
③安定性の評価	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収支状況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経費縮減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財務状況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	3	回
		管理運営協議回数	15	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価)		
	核テナント退店後に新たなテナント誘致による利用促進を図った結果、地階を除く2フロアに新テナントが入居し、駐車場利用者は微増しました。隣接する公益施設の事業や駅周辺のイベント開催時の利用者が増収の一因となっており、令和8年度は同程度の収入が見込まれます。 テナントの入居に伴い月極区画のニーズが増加していることから、安定した収入を確保するために月極と一時利用の区画配分を適切に行う必要があると考えています。		
	(所管評価)		
	令和7年度は新たなテナントの入居に伴う一時利用及び定期利用の増加により、利用収入・利用台数ともに回復傾向にある。テナントの入れ替わりに伴い月極駐車場の利用希望者が増加したことによる区画配分の見直しや、駅前駐車場の適正な利用促進を目的とする料金改定に対する協力など、経営環境やニーズの変化にも柔軟に対応している。 また、緊急時の対応をはじめ、日常的な運営体制は引き続き維持されている。 今後も経営環境の変化に合わせて、運営についての協議を行う。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 3 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市営駐車場（中央、長崎）			
所 在 地		尾道市土生町1899-31・2579-1			
指 定 管 理 者	団体名	一般社団法人 因島観光協会			
	所在地	尾道市土生町1899-31			
指 定 期 間		令 和 6 年 4 月 1 日 ～ 令 和 11 年 3 月 31 日			
選 定 方 法		○	公 募		非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金		使用料(市へ直接収納) 無料施設
評 価 年 度		指定期間 5 年のうち 2 年目			
施 設 設 置 目 的		近隣の商業店舗利用者、企業勤務者の駐車場としての利用、地域の活性化の為にコミュニティ施設の利用			
主 な 実 施 事 業		駐車料金の徴収、建物の維持管理、貸店舗業務			

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	施設利用料	千円	39,500	36,598	38,600	36,250	37,020	34,641	36,570	33,906	33,100	31,244	23,200	
②														
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	0	0	0	0	0	0
	利用料金収入	B	36,598	36,250	34,641	33,906	31,244	23,200
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	0	0	0	0	0	0
	収入計(A～Dの計)	E	36,598	36,250	34,641	33,906	31,244	23,200
支出	指定事業費	F	36,768	36,250	34,641	34,041	31,244	22,218
	内、人件費	G	14,499	15,196	15,962	17,055	17,338	10,770
	内、修繕費	H	2,872	2,662	1,744	1,501	1,611	0
	内、再委託料	I	4,273	4,690	4,386	4,429	4,341	4,590
	内、施設使用料	J	8,308	6,298	5,692	3,611	3,182	0
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F＋K)	L	36,768	36,250	34,641	34,041	31,244	22,218
使用料収入(市へ直接収納)			M	0	0	0	0	0
減免金額			N	0	0	0	0	0
事業収支			E－L	-170	0	-135	0	982
利用料金収入比率			B／E	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人件費比率			G／L	39.4%	41.9%	46.1%	50.1%	48.5%
使用料収入比率			M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率			N／*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E＋M)とする。 ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法令遵守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再委託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管理運営記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利用料金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個人情報保護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情報公開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安全管理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊急時対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《総括》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛生管理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利用者対応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事業運営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広報活動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《総括》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収支状況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経費縮減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財務状況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《総括》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	2	回
		管理運営協議回数	20	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価)		
	周辺の空き地が増え、それに伴い駐車場も増加している為、個人の車庫利用も減少しています。観光客利用は望めない地域で会社関係の定期利用のみに限定されている中で、定期利用の増加は見込みがたい状況です。 中央駐車場の空きテナントも決まらない状態が継続しています。 収支を改善させるため長崎駐車場事務所の段階的な縮小と閉鎖による人件費の大幅な削減を図っていますが、収益は悪化の見通しです。 運営について市との協議が必須になります。		
	(所管評価)		
	光熱水費の節減等の経費削減策に加え、段階的な人員削減をはじめとする収支改善策を講じているものの、周辺の空洞化及び空き地の駐車場化による競合相手の増加、人件費の増加といった経営環境の悪化に伴う収支の悪化が続いている。 空きテナントについても用途緩和による誘致活動の促進を図っているが、入居者が決まらない状態が継続していることから、収支の改善に向けた更なる取り組みや駐車場の運営について事業者と協議を行う必要がある。		
前年総合評価	A	総合評価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 4 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市総合福祉センター			
所 在 地		尾道市門田町22-5			
指 定 管 理 者	団体名	社会福祉法人尾道市社会福祉協議会			
	所在地	尾道市門田町22-5			
指 定 期 間		令 和 3 年 4 月 1 日 ～ 令 和 8 年 3 月 31 日			
選 定 方 法		公 募		○	非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		利用料金		○	使用料(市へ直接収納)
評 価 年 度		指定期間 5 年のうち		5	年目
施 設 設 置 目 的		児童、高齢者、障害者(児)、母子等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに、市民に対する保健サービスを充実し、併せて市民、市民組織等の協力による福祉保健活動を助長し、もって総合的に市民の福祉と健康の増進を図るため			
主 な 実 施 事 業		老人福祉センター事業、障害者福祉センター事業、母子・父子福祉センター事業、児童センター事業、保健センター事業			

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	利用人数	人	-	29,883	-	87,759	-	90,615	-	103,766	-	112,287	-	
②	利用件数	件	-	2,733	-	3,113	-	3,519	-	3,797	-	4,286	-	
③	稼働率（件数）	%	-	36.6%	-	42.0%	-	47.0%	-	49.9%	-	47.4%	-	
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	1,056	1,286	1,292	1,408	2,081	2,400
	利用料金収入	B	0	0	0	0	0	0
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	0	0	0	0	0	0
	収入計(A～Dの計)	E	1,056	1,286	1,292	1,408	2,081	2,400
支出	指定事業費	F	1,056	1,286	1,292	1,408	2,081	2,400
	内、人件費	G	898	1,179	1,207	1,324	1,871	2,108
	内、修繕費	H	0	0	0	0	0	0
	内、再委託料	I	0	0	0	0	0	0
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F＋K)	L	1,056	1,286	1,292	1,408	2,081	2,400
使用料収入(市へ直接収納)			M	70	156	179	212	356
減免金額			N	6	8	11	34	93
事業収支			E－L	0	0	0	0	0
利用料金収入比率			B／E	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件費比率			G／L	85.0%	91.7%	93.4%	94.0%	89.9%
使用料収入比率			M／*1	6.2%	10.8%	12.2%	13.1%	14.6%
減免金額比率			N／*2	7.9%	4.9%	5.8%	13.8%	20.7%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E＋M)とする。 ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	10	回
		管理運営協議回数	3	回

所 見 (成果、課題等)	(自己評価) 児童、高齢者、障害者、ひとり親家庭（母子・父子家庭）等の多様な住民を対象として、相談支援、交流活動、生活支援等の各種福祉サービスを提供している。 また、地域住民の福祉の向上及び相互交流の促進を図るため、各種ボランティア団体や町内会、福祉関係団体等の活動拠点として活用されており、地域福祉活動の推進や住民参加による支え合いのまちづくりに寄与している。		
	(所管評価) 尾道市総合福祉センターの管理・運営に関して、仕様書等を遵守し概ね要求水準が満たされたものとなっている。また、尾道市総合福祉センターの設置目的に沿い、児童・高齢者・障害者・ひとり親家庭（母子・父子家庭）等を対象に、各種福祉サービスの提供、会議室等の活動場所の提供を適切に行っている。 今後も引き続き、高い水準での管理・運営を維持していくとともに、利用者にとってより良い対応を行っていくことを期待する。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S	（優良）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	A	（良好）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	B	（課題含）	=	協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
	C	（要改善）	=	協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S	（優良）	=	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A	（良好）	=	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】
	B	（課題含）	=	評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C	（要改善）	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S	（優良）	=	《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A	（良好）	=	《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】
	B	（課題含）	=	《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C	（要改善）	=	《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設Ｎｏ. 5 ）

公 の 施 設 の 名 称	尾道市向島福祉支援センター				
所 在 地	尾道市向島町5888-1				
指 定 管 理 者	団体名	社会福祉法人尾道市社会福祉協議会			
	所在地	尾道市門田町22-5			
指 定 期 間	令 和 3 年 4 月 1 日 ～ 令 和 8 年 3 月 31 日				
選 定 方 法		公 募	○	非 公 募	
料 金 制 導 入 区 分		利用料金		使用料(市へ直接収納)	○ 無料施設
評 価 年 度	指定期間	5	年のうち	5	年目
施 設 設 置 目 的	地域の福祉保健活動の拠点施設として、市民の福祉の向上と健康の増進を図るため				
主 な 実 施 事 業	・ 地域住民の福祉保健活動の支援及び活動に必要な場の提供 ・ 地域の福祉保健活動を担う人材育成等の支援 など				

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	利用人数	人	6,000	4,920	6,000	7,349	7,500	7,623	7,700	8,948	9,100	8,902	9,000	
②	利用件数	件	700	554	700	793	800	856	860	1,011	1,050	976	1,000	
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収 入	指定管理料	A	0	0	0	0	0	99
	利用料金収入	B	0	0	0	0	0	0
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	0	0	0	0	0	0
	収入計(A～Dの計)	E	0	0	0	0	0	99
支 出	指定事業費	F	0	0	0	0	0	0
	内、人件費	G	0	0	0	0	0	0
	内、修繕費	H	0	0	0	0	0	0
	内、再委託料	I	0	0	0	0	0	0
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F＋K)	L	0	0	0	0	0	0
使用料収入(市へ直接収納)			M	0	0	0	0	0
減免金額			N	0	0	0	0	0
事業収支			E－L	0	0	0	0	99
利用料金収入比率			B／E	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件費比率			G／L	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
使用料収入比率			M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率			N／*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
・ 「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳をとり上げているため合計額とはならない。 ・ 事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・ 着色セルは、自動計算としている。 ・ *1は、(E＋M)とする。 ・ *2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法令遵守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再委託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	—	—
	管理運営記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利用料金	利用料金の額を適正に設定している。	—	—
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	—	—
	個人情報保護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情報公開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安全管理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊急時対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《総括》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設20項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛生管理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利用者対応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事業運営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広報活動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《総括》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収支状況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経費縮減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財務状況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《総括》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	5	回
		管理運営協議回数	3	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) ボランティア活動や福祉活動等の拠点施設として、多くの方々に有効活用された。 施設管理者として、利用者の皆様に安全かつ快適に利用していただくため、適切な施設管理に努めた。 一方、ご高齢の利用者が多く、階段の昇降や和式トイレの使用等について、利用上の課題がある。		
	(所管評価) 向島福祉支援センターの管理・運営に関して、仕様書等を遵守し概ね要求水準が満たされたものとなっている。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 6 ）

公 の 施 設 の 名 称		すばーく因島			
所 在 地		尾道市因島中庄町4601			
指 定 管 理 者	団体名	因島ゲートボール協会			
	所在地	尾道市因島中庄町2909			
指 定 期 間		令 和 7 年 4 月 1 日 ～ 令 和 12 年 3 月 31 日			
選 定 方 法		公 募	○	非 公 募	
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金	使用料(市へ直接収納)	無料施設
評 価 年 度		指定期間 5 年のうち 1 年目			
施 設 設 置 目 的		ゲートボールを通じて、高齢者の健康の維持を図り、併せて地域住民との世代間交流を促進し、地域支え合い及び地域福祉の向上に寄与することを目的とする			
主 な 実 施 事 業		定期的なゲートボール大会の開催、施設内の清掃作業、小学校とのゲートボール交流			

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	利用延人数	人	-	4,488	-	2,506	3,000	3,052	3,200	2,182	2,800	1,744	2,000	
②														
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	240	240	240	240	240	240
	利用料金収入	B	171	41	56	41	0	40
	自主事業収入	C	225	0	0	0	0	0
	その他	D	353	0	125	100	67	80
	収入計(A～Dの計)	E	989	281	421	381	307	360
支出	指定事業費	F	271	281	421	381	307	360
	内、人件費	G	0	0	0	0	0	0
	内、修繕費	H	0	40	85	94	67	70
	内、再委託料	I	0	0	0	0	0	0
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F＋K)	L	271	281	421	381	307	360
使用料収入(市へ直接収納)			M	0	0	0	0	0
減免金額			N	0	0	0	0	0
事業収支			E－L	718	0	0	0	0
利用料金収入比率			B／E	17.3%	14.6%	13.3%	10.8%	11.1%
人件費比率			G／L	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
使用料収入比率			M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率			N／*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E＋M)とする。 ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)			競技人口自体の減少、猛暑による夏期の利用減が利用者数の減少に影響している。					

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	—	—
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設22項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	B	B
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	B	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	B	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	2	回
		管理運営協議回数	6	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) 利用者について、8月は猛暑のため、1月と2月は寒さのため利用者が0人であった。さらなる高齢化と人口減少により競技者自体が減っており、利用者の大幅な増加は見込めない。 一方、屋根のある屋外施設は島内にないため、ゲートボール以外の競技での利用、隣接する因島北認定こども園への開放など未利用時間帯の有効活用など検討したい。 施設については、重量がある訳ではないので危険性は低いが屋根の断熱材が朽ちて剥落するため、掃除に負担が出ている。 施設の駐車場西側の山林から樹木が伸びており、対応に苦慮している。 (所管評価) 人口自体の減少、70代後半から上の年齢になることで競技を止める、気候の影響など、利用者の減少理由について一定の理解はできる。指定管理者からゲートボール以外の利用について当課に相談もあり、施設の有効活用にむけた話し合いを行っていく。 指定管理者がゲートボール協会であり、高齢者が運営しているという実態からホームページ等を活用した広報活動、利用者アンケート実施を取り組むことが難しいものの、基本的な運営・施設管理に加え、施設周辺環境維持など適切に行われている。		
前 年 総 合 評 価	B	総 合 評 価	B

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 7 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市因島デイサービスセンター			
所 在 地		尾道市因島田熊町940番地3			
指 定 管 理 者	団体名	社会福祉法人尾道市社会福祉協議会			
	所在地	尾道市門田町22番5号			
指 定 期 間		令 和 3 年 4 月 1 日 ～ 令 和 8 年 3 月 31 日			
選 定 方 法			公 募	○	非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金		使用料(市へ直接収納) 無料施設
評 価 年 度		指定期間 5 年のうち 5 年目			
施 設 設 置 目 的		在宅の要援護高齢者に対し、通所の方法により、各種サービスを提供することによって、生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的又は精神的な負担の軽減を図るため、介護保険法第7条第11項に規定する通所介護施設として、併せて在宅高齢者を対象とした介護予防を推進するため。			
主 な 実 施 事 業		入浴サービス、配食サービス、日常動作訓練、介護方法の指導、その他必要なサービス			

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	利用延数	人	-	6,746	-	5,992	6,500	6,183	6,300	5,410	5,500	5,271	5,300	
②														
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	0	0	0	0	0	0
	利用料金収入	B	60,735	60,052	64,833	58,692	56,679	59,859
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	8,271	11,000	2,298	947	487	0
	収入計(A～Dの計)	E	69,006	71,052	67,131	59,639	57,166	59,859
支出	指定事業費	F	69,692	71,428	64,422	61,014	58,501	54,637
	内、人件費	G	52,417	52,594	47,688	43,671	41,694	37,629
	内、修繕費	H	564	769	117	287	441	300
	内、再委託料	I	0	0	0	0	0	0
	内、施設使用料	J	2,000	2,044	2,045	2,045	2,045	0
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F＋K)	L	69,692	71,428	64,422	61,014	58,501	54,637
使用料収入(市へ直接収納)		M	0	0	0	0	0	0
減免金額		N	0	0	0	0	0	0
事業収支		E－L	-686	-376	2,709	-1,375	-1,335	5,222
利用料金収入比率		B／E	88.0%	84.5%	96.6%	98.4%	99.1%	100.0%
人件費比率		G／L	75.2%	73.6%	74.0%	71.6%	71.3%	68.9%
使用料収入比率		M/*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率		N/*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E＋M)とする。 ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	—	—
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設22項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	4	回
		管理運営協議回数	6	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) 他事業所との競合、家族介護環境の変化などの課題がある中で、利用者一人ひとりのニーズに丁寧に 向き合い、安心して通所できる環境づくりを推進することで、より質の高い支援の提供に努め利用者満足の 向上・継続利用への構築に取り組んだ。 また介護人材の定着を重要な課題として、賃金改善を行うとともに研修機会の充実、業務負担軽減の取 り組み、働きやすい職場環境整備に取り組み、職員が安心して働き続けられる環境と利用者に提供する サービスの質の向上を図った。		
	(所管評価) 運営は概ね適正に行われている。 しかしながら尾道市全体でデイサービス利用者が減少しており、収益を見ても運営が厳しさを増してい る。令和8年度から令和10年度まで指定管理を更新している。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）	＝	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	A（良好）	＝	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	B（課題含）	＝	協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
	C（要改善）	＝	協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）	＝	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	＝	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	＝	評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	＝	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）	＝	《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	＝	《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	＝	《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	＝	《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 8 ）

公 の 施 設 の 名 称		向島漁村センター			
所 在 地		尾道市向島町20074-7			
指 定 管 理 者	団体名	向島町漁業協同組合			
	所在地	尾道市向島町20074-4			
指 定 期 間		令 和 3 年 4 月 1 日 ～ 令 和 8 年 3 月 31 日			
選 定 方 法			公 募	○	非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金		使用料(市へ直接収納)
評 価 年 度		指定期間	5	年のうち	5 年目
施 設 設 置 目 的		漁村の振興と漁業者の育成並びに産業、経済及び文化の向上を図るため			
主 な 実 施 事 業		向島漁村センターの管理運営。船舶免許更新手続きや漁協総会等の実施時に貸室業務を行う			

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	センター稼働日数	日	5	2	5	2	5	3	5	2	5	2	5	
②	センター利用者数	人	200	52	200	105	200	122	200	70	200	75	200	
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	0	0	0	0	0	0
	利用料金収入	B	3	3	7	3	3	10
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	173	187	167	190	179	190
	収入計(A～Dの計)	E	176	190	174	193	182	200
支出	指定事業費	F	173	187	174	193	182	200
	内、人件費	G	0	0	0	0	0	0
	内、修繕費	H	0	0	0	0	0	0
	内、再委託料	I	0	0	0	0	0	0
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F＋K)	L	173	187	174	193	182	200
使用料収入(市へ直接収納)			M	0	0	0	0	0
減免金額			N	3	3	3	3	3
事業収支			E－L	3	3	0	0	0
利用料金収入比率			B／E	1.7%	1.6%	4.0%	1.6%	5.0%
人件費比率			G／L	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
使用料収入比率			M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率			N／*2	50.0%	50.0%	30.0%	50.0%	23.1%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E＋M)とする。 ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	—	—
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設22項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	3	回
		管理運営協議回数	3	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) 室内利用について、無料利用1回、有料利用1回でした。 ピロティ部を利用した組合員による朝市は年75回程度開催しており、およそ2000人の来場がありました。 指定管理制度の開始当時から管理を行っており、また所在地が指定管理団体に近接した場所にある事から開館の際は適切かつ安定した管理体制を維持できていると考えています。		
	(所管評価) 目標値を下回る状況が続いている。室内利用について、例年利用のある団体のみとなっており、今後民間企業と連携した施設の有効活用について、漁協とともに進めていくことを確認した。 なお、ピロティ部を利用した朝市は好調であり、年間の開催回数も伸びてきている。		
前年総合評価	B	総合評価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	A（良好）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	B（課題含）	=	協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
	C（要改善）	=	協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）	=	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）	=	《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 9）

公 施 設 の 名 称		向島洋らんセンター			
所 在 地		尾道市向島町3090番地1			
指 定 管 理 者	団体名	株式会社オーキッド向島			
	所在地	尾道市向島町3086番地			
指 定 期 間		令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日			
選 定 方 法			公 募	○	非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金		使用料(市へ直接収納)
評 価 年 度		指定期間	3	年のうち	3 年目
施 設 設 置 目 的		農業の振興及び地域の交流のための施設として設置			
主 な 実 施 事 業		向島洋らんセンターの管理運営 受託事業として、施設の利用許可、施設の維持管理。自主事業として洋ランの生産・販売事業			

2 利用状況（目標と実績）

[illegible]

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	6,286	6,286	6,191	6,191	6,191	6,090
	利用料金収入	B	140	179	331	359	132	450
	自主事業収入	C	72,311	70,966	69,695	67,244	70,993	70,000
	その他	D	81	89	74	59	43	100
	収入計(A～Dの計)	E	78,818	77,520	76,291	73,853	77,359	76,640
支出	指定事業費	F	6,213	7,624	6,823	7,234	6,915	6,205
	内、人件費	G	3,171	3,171	3,171	3,171	3,171	3,984
	内、修繕費	H	45	427	141	19	247	42
	内、再委託料	I	889	819	852	780	839	892
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	64,945	69,476	69,607	66,844	70,332	69,500
	支出計(F+K)	L	71,158	77,100	76,430	74,078	77,247	75,705
使用料収入(市へ直接収納)		M	0	0	0	0	0	0
減免金額		N	0	0	0	0	0	0
事業収支		E-L	7,660	420	-139	-225	112	935
利用料金収入比率		B/E	0.2%	0.2%	0.4%	0.5%	0.2%	0.6%
人件費比率		G/L	4.5%	4.1%	4.1%	4.3%	4.1%	5.3%
使用料収入比率		M/*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率		N/*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳をとり上げているため合計額とはならない。
- ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・*1は、 $(E + M)$ とする。
- ・*2は、 $(B + N)$ 又は、 $(M + N)$ とする。

○補足説明
(必要に応じて記述)

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	10	回
		管理運営協議回数	5	回

所 見 (成果、課題等)	(自己評価) 地域の拠点施設としての機能を高めていくために、日頃から地域住民が集まりやすい交流の場として門戸を開き、地域コミュニティの形成や災害時の避難所としての意識向上、さらに自主事業を通じた地域雇用の創出に力を入れています。とりわけ、自主事業の洋ラン栽培は施設のブランドイメージを高める大きな要因となっており、高品質な洋ランをイメージしたイベントの開催や施設の利用など、近年増加するサイクリストや外国人観光客も含めて地域内外の交流人口の増大に寄与しています。 新型コロナウイルスの影響で一時的に入場者が減少しましたが、現在は徐々に回復傾向にあり、万全な感染対策を講じることで、来場者に安心して過ごしてもらえるよう努め、地域の皆様からの信頼も得られていると感じています。 また、施設内の植栽管理やバリアフリー化に取り組むことで、子どもから高齢者まで誰もが自然豊かな環境の中で安心して利用できる空間を整備し、地域の健康促進と福祉の向上にも寄与しています。 (所管評価) 受託事業については、仕様書等に沿った維持管理に努めており、概ね要求水準を満たしている。 年間の総利用者数は微減しているものの、3万人近くの利用者がおり、地域の人も多数利用されており必要とされていることが窺われる。 自主事業の洋ラン栽培・販売についても、光熱水費と物価の高騰により支出の増加は避けられない中、辛うじて黒字を確保できており、努力が窺われる。 監査でも指摘された通り、自主事業と受託事業の管理が曖昧になっている部分があるため、しっかりと収支等を分けて管理いただきたい。 今後も引き続き農業振興・地域住民の交流の場としての設置目的が十分発揮できるよう管理運営していただきたい。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 10 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市千光寺山索道事業施設						
所 在 地		尾道市東土堂町20－1						
指 定 管 理 者	団体名	おのみちバス株式会社						
	所在地	尾道市東尾道18番地1						
指 定 期 間		令 和 6 年 4 月 1 日 ～ 令 和 11 年 3 月 31 日						
選 定 方 法		○	公 募			非 公 募		
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金			使用料(市へ直接収納)		無料施設
評 価 年 度		指定期間		5	年のうち		2	年目
施 設 設 置 目 的		千光寺公園への交通の利便を図ることにより、観光振興に寄与する						
主 な 実 施 事 業		千光寺山ロープウェイの管理運営と維持管理						

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	利用人数	人	235,000	212,180	435,000	483,034	475,000	503,216	486,415	509,932	489,820	619,339	524,000	
②														
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収 入	指定管理料	A	0	0	0	0	0	0
	利用料金収入	B	58,621	195,033	208,570	213,153	262,136	218,422
	自主事業収入	C	883	854	683	522	471	298
	その他	D	2,875	0	0	0	0	0
	収入計(A～Dの計)	E	62,379	195,887	209,253	213,675	262,607	218,720
支 出	指定事業費	F	71,072	162,566	184,227	173,222	191,462	186,319
	内、人件費	G	51,503	52,133	59,201	63,664	79,977	80,966
	内、修繕費	H	601	586	849	2,923	803	741
	内、再委託料	I	7,523	11,624	12,154	13,480	9,639	9,894
	内、施設使用料	J	0	79,336	82,525	65,000	65,000	65,000
	自主事業費	K	116	247	272	154	85	0
	支出計(F＋K)	L	71,188	162,813	184,499	173,376	191,547	186,319
使用料収入(市へ直接収納)			M	0	0	0	0	0
減免金額			N	38	171	104	309	300
事業収支			E－L	-8,809	33,074	24,754	40,299	32,401
利用料金収入比率			B／E	94.0%	99.6%	99.7%	99.8%	99.9%
人件費比率			G／L	72.3%	32.0%	32.1%	36.7%	43.5%
使用料収入比率			M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率			N／*2	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を上げているため合計額とはならない。		
・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。		
・着色セルは、自動計算としている。		
・*1は、(E＋M)とする。		
・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。		
○補足説明 (必要に応じて記述)		

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法令遵守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再委託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管理運営記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利用料金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個人情報保護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	S	S
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情報公開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安全管理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊急時対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《総括》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛生管理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利用者対応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事業運営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広報活動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	S	S
	利用状況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《総括》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収支状況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経費縮減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財務状況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《総括》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	12	回
		管理運営協議回数	12	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) 今年度は、国内の長引く円安傾向と例年年末に実施する設備更新による運休期間が短かった事もあり、昨年度以上に多くの海外インバウンド客や国内観光客にお越しいただきました。その結果として、年間利用者数が昨年度を大きく上回る約62万人となりました。延長運行については、初日の出や春の観桜、夏の花火大会、秋の灯りまつりなど、例年通りシーズン毎に実施し、展望台PEAK利用者を含め、多くの方で賑わいましたが、適切な人員整理を確実にすることにより、大きな問題もなく終えることができました。 また熱中症対策として、夏季期間中には、オリジナルうちわの配布と山頂駅へミストシャワーを設置し、ミスト噴霧を実施しました。さらに、体調不良予防対策として水分補給用ドリンクと冷却材を常備することにより、不慮の事故に対応できる体制づくりで、夏場を乗り切る事ができました。 自社イベントについては、夏休み限定親子参加型イベント「フォトチャレンジ」や秋の「ロープウェイまつり」を実施することにより、公園内の賑わい空間の創出を行い、観光客のみならず、多くの地域住民の方にもお越しいただきました。またYOUTUBEの4Kライブ配信も好評で、国内のみならず海外の方にも視聴いただき、チャンネル登録者数も順調に伸びています。 安全対策については、部品交換を事前に行うなど予防措置を講じ、発生する異音等を聞き逃すことなく日々の見回り点検を欠かさず実施し、機器の故障による運休を未然に防ぐことで、利用者に安全安心を提供しています。今後も、継続したサービス向上及び利用者の満足度向上に努めるとともに、施設の維持管理に努めます。		
	(所管評価) 昨年度に引き続き、外国人観光客増加の追い風もあり、年間利用者数は過去最多の62万人を記録したことと、利用客の増加対策として、臨時運行や各種行事・イベントに合わせた延長運行等を行いながら、適切な人員配置、熱中症対策、機器のメンテナンスに取り組んでいただき、安全に事故なく運行を維持できたことは高く評価できる。 夏休み限定親子参加型イベント「フォトチャレンジ」等の自主事業は観光客のみならず、市民の方々にも楽しんでいただけており、市民の満足度にも繋がっている。 今後もロープウェイの安全運行に努めるとともに、千光寺公園の魅力づくりにつながる各種行事等、関係者と一体となった取り組みを期待している。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 11 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市道の駅					
所 在 地		尾道市御調町大田33番地					
指 定 管 理 者	団体名	株式会社みつぎ交流館					
	所在地	尾道市御調町大田33番地					
指 定 期 間		令 和 7 年 4 月 1 日 ～ 令 和 12 年 3 月 31 日					
選 定 方 法		○	公 募			非 公 募	
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金			使用料(市へ直接収納)	無料施設
評 価 年 度		指定期間		5	年のうち		1 年目
施 設 設 置 目 的		地域間交流と各種情報の受発信及び地場産品の販売を通じて、交流人口の増加と産業の活性化を図り、魅力ある地域社会の形成に貢献するため					
主 な 実 施 事 業		1) 広域的な交流を深める事業及びその事業を行うための場所の提供 2) 物産の展示、販売及び飲食物の提供 3) その他目的を達成するために必要な事業。					

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	来場者数	千人	261	283	300	302	310	301	310	289	300	284	300	
②														
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	0	0	0	0	0	0
	利用料金収入	B	5,727	5,771	5,803	5,728	5,728	5,728
	自主事業収入	C	95,207	109,347	112,929	114,017	115,039	117,339
	その他	D	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	収入計(A～Dの計)	E	102,434	116,618	120,232	121,245	122,267	124,567
支出	指定事業費	F	6,652	7,983	6,818	7,293	6,509	7,211
	内、人件費	G	1,260	1,260	1,263	1,260	1,260	1,260
	内、修繕費	H	461	963	254	549	231	300
	内、再委託料	I	0	0	0	0	1,012	1,000
	内、施設使用料	J	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	自主事業費	K	95,483	102,422	107,782	107,314	110,131	112,333
	支出計(F＋K)	L	102,135	110,405	114,600	114,607	116,640	119,544
使用料収入(市へ直接収納)			M	0	0	0	0	0
減免金額			N	0	0	0	0	0
事業収支			E－L	299	6,213	5,632	6,638	5,023
利用料金収入比率			B/E	5.6%	4.9%	4.8%	4.7%	4.6%
人件費比率			G/L	1.2%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%
使用料収入比率			M/*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率			N/*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E＋M)とする。 ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	6	回
		管理運営協議回数	12	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) 今年度は売上、来場者数ともにわずかに前年度を下回る結果となりました。要因として、お客様の移動に直結するガソリン等の燃料価格の高騰、トイレの改修工事に伴う仮設トイレ使用期間が影響したと考えられます。実際に観光バスのキャンセルもありましたが、来年度はトイレが新しくなり、利用者にも快適にお使いいただける環境が整いました。 令和8年1月には物産売店レジを自動釣銭機に変更し、仕事の効率化、幅広いキャッシュレス対応も進めています。お客様のニーズにも応え、酒類小売免許を取得、地酒の販売もスタートしました。御調町の特産品化をすすめる「さつまいも」を使用したオリジナル芋焼酎の開発も鹿児島県の酒造メーカーとタッグを組んで進めています。ネット調査で「お土産が充実していると思う広島県の道の駅ランキング」で光栄にも1位に選んでいただきました。今後益々「目的地」となる道の駅を目指して取り組みます。 (所管評価) 令和7年度の来場者数は、燃料価格の高騰やトイレの改修工事といった集客に不利な条件もありながら、コロナ禍後の水準を維持できていることは評価できる。 また他の観光地と比べ、外国人観光客より近隣地域からの来場が多い傾向にあり、休日は家族連れのマイカー客で賑わっている。そのなかでも利用客のニーズに応え、酒類小売免許を取得、地酒の販売を始めたことも評価できる。 今後は、改修を終えた新しいトイレ、売店のキャッシュレス対応レジといった利用者に快適に使っていただける環境を基盤とし、御調ならではの特産品やお土産の充実を活かした誘客の取組に期待したい。		
	前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価

※評価区分

評価基準：	S（優良）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	A（良好）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	B（課題含）	=	協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
	C（要改善）	=	協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）	=	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）	=	《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 12 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市営住宅（単市、特公賃住宅含め合計62施設）			
所 在 地					
指 定 管 理 者	団体名	堀田・誠和共同企業体 代表者 株式会社 堀田組			
	所在地	尾道市新浜一丁目9番22号			
指 定 期 間		令 和 3 年 4 月 1 日 ～ 令 和 8 年 3 月 31 日			
選 定 方 法		○	公 募		非 公 募
料 金 制 導 入 区 分			利用料金	○	使用料(市へ直接収納)
評 価 年 度		指定期間 5 年のうち 5 年目			
施 設 設 置 目 的		国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする			
主 な 実 施 事 業		入居者管理に関する業務、設備の維持・保守・管理に関する業務、修繕に関する業務、その他左記に掲げる業務に付随する業務の管理運営			

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	家賃（現年度分）収納率	%	98.0	99.6	98.0	99.7	98.0	99.4	98.0	99.2	98.0	98.9	98.5	
②	駐車場使用料（現年度分+過年度分）収納率	%	99.0	99.9	99.0	99.9	99.0	99.8	99.0	99.8	99.0	99.7	99.0	
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	73,970	74,470	75,470	74,970	74,470	101,500
	利用料金収入	B	0	0	0	0	0	0
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	0	0	0	0	0	0
	収入計(A～Dの計)	E	73,970	74,470	75,470	74,970	74,470	101,500
支出	指定事業費	F	73,970	74,470	75,470	74,970	74,470	101,500
	内、人件費	G	16,800	16,800	16,800	16,800	16,800	17,400
	内、修繕費	H	57,170	57,670	58,670	58,170	57,670	84,100
	内、再委託料	I	0	0	0	0	0	0
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F+K)	L	73,970	74,470	75,470	74,970	74,470	101,500
使用料収入(市へ直接収納)			M	246,783	238,224	234,356	236,455	234,284
減免金額			N	0	0	0	0	0
事業収支			E-L	0	0	0	0	0
利用料金収入比率			B/E	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件費比率			G/L	22.7%	22.6%	22.3%	22.4%	17.1%
使用料収入比率			M/*1	76.9%	76.2%	75.6%	75.9%	70.3%
減免金額比率			N/*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E+M)とする。 ・*2は、(B+N)又は、(M+N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	—	—
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設22項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	—	—
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	—	—
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設7項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	3	回
		管理運営協議回数	12	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価)		
	令和7年度は尾道市市営住宅の指定管理者として13年目を迎え、年1回実施のアンケート調査による入居者皆様の要望にできる限り耳を傾け、信頼関係をさらに構築できた年であったと思っております。例年同様、申請業務などの各業務を公正かつ迅速に対応しました。 また、ここ数年の物価高騰の影響が前年度同様引き続き影響を与え、一般修繕費の高騰を招き、空家修繕費を圧迫する事態となっているため、管理センターの職員で対応できるものは職員で修繕対応し、修繕工事コストを抑えた1年でした。今後も物価高騰の影響が続きますが、入居者の皆様の声に耳を傾け迅速に対応を行い、コスト削減にも取り組み、入居者皆様の利便性向上に取り組んで参りたいと思います。		
	(所管評価)		
	市営住宅の指定管理者として13年目であり、職員が入居者からの要望・相談、緊急時の対応にも、親身になって適切に対応されている。入居者に対するアンケートにおいても「大変良い」「良い」で9割以上を占めており、入居者の評価は高い。 家賃等の収納率については、滞納者に対するこまめな対応など積極的な取組により、基準収納率を超えた収納率が達成できている。引き続き、滞納額の削減に向けた取組をお願いしたい。 修繕業務については、物価高騰の影響により一般修繕費の高騰により空戸修繕費を圧迫しているが、指定管理者所属の技術者による対応により、コスト削減にも取り組み、市営住宅の空き戸解消についても民間のノウハウやアイデアを生かした入居率の向上に向けた取組をお願いしたい。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 13）

公 施 設 の 名 称	尾道市因島アメニティプール				
所 在 地	尾道市因島大浜町57番地				
指 定 管 理 者	団体名	株式会社ベッセルテクノサービス			
	所在地	福山市南本庄三丁目4番27号			
指 定 期 間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日				
選 定 方 法	○	公 募		非 公 募	
料 金 制 導 入 区 分	○	利用料金		使用料(市へ直接収納)	無料施設
評 価 年 度	指定期間	5	年のうち	4	年目
施 設 設 置 目 的	高い親水性を活かした市民及び来訪者のレクリエーション施設として設置されている				
主 な 実 施 事 業	プールの管理運営。利用許可、利用料金の徴収				

2 利用状況（目標と実績）

[illegible]

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	2,037	2,528	3,000	3,000	3,000	3,000
	利用料金収入	B	0	0	7,317	7,700	9,066	9,800
	自主事業収入	C	0	0	4,044	4,261	6,567	6,200
	その他	D	6	0	0	0	0	0
	収入計(A～Dの計)	E	2,043	2,528	14,361	14,961	18,633	19,000
支出	指定事業費	F	2,455	5,841	12,262	13,656	14,977	19,000
	内、人件費	G	1,060	1,020	4,926	5,009	6,335	7,500
	内、修繕費	H	52	2,493	117	405	578	500
	内、再委託料	I	238	587	812	752	924	1,020
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F+K)	L	2,455	5,841	12,262	13,656	14,977	19,000
使用料収入(市へ直接収納)		M	0	0	0	0	0	0
減免金額		N	0	0	0	0	0	0
事業収支		E-L	-412	-3,313	2,099	1,305	3,656	0
利用料金収入比率		B/E	0.0%	0.0%	51.0%	51.5%	48.7%	51.6%
人件費比率		G/L	43.2%	17.5%	40.2%	36.7%	42.3%	39.5%
使用料収入比率		M/*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率		N/*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・*1は、 $(E + M)$ とする。
- ・*2は、 $(B + N)$ 又は、 $(M + N)$ とする。

○補足説明
(必要に応じて記述)

2025年度の入場者数は2024年度に比べ+3,914人(+14.5%)増加した。
 コロナ禍以前の2019年度に比べ+1,497人(+5.5%)となり徐々に回復してきている。

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	6	回
		管理運営協議回数	12	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) コロナ禍以前の2019年度と比べ入場者数は+1,497人(+5.5%)であったが、2025年度は2024年度に比べ+3,914人(+14.5%)増加した。徐々に回復してきている。 老朽化によりプール底面の破損が多かったが、市により塗装工事や修繕工事を実施していただき運営に支障が無い程度になっている。 法定点検・月例点検を適正に実施した。 光熱水費の高騰を受け電力供給会社の変更を2019年8月に続いて2回目の2025年6月におこない経費削減と節電に心がけた。 上記光熱水費同様に人件費の高騰も受けたが売店営業日を工夫するなど効率よく営業した。		
	(所管評価) 施設の老朽化による突発的な修繕についても速やかに対応し継続した営業を行っている。 また、電力料金の高騰などの歳出増加に対しては電力会社の変更を行うなど経費縮減を行い、収入面においても自主事業による収入の増加により継続可能な財務状況を維持している。		
前年総合評価	A	総合評価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	A（良好）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	B（課題含）	=	協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
	C（要改善）	=	協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）	=	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）	=	《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 14）

公 施 設 の 名 称		因島水軍城			
所 在 地		尾道市因島中庄町3228-2			
指 定 管 理 者	団体名	一般社団法人因島観光協会			
	所在地	尾道市因島土生町1899-31			
指 定 期 間		令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日			
選 定 方 法			公 募	○	非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金		使用料(市へ直接収納)
評 価 年 度		指定期間	5	年のうち	5 年目
施 設 設 置 目 的		因島村上海賊の歴史・遺品を後世に伝えるため			
主 な 実 施 事 業		入場料金の徴収、建物・周辺の維持管理。自主事業として企画展・特別展の開催			

2 利用状況（目標と実績）

[illegible]

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100	3,000
	利用料金収入	B	3,820	7,681	8,261	8,920	10,529	15,000
	自主事業収入	C	48	119	141	172	230	0
	その他	D	0	0	0	0	0	0
	収入計(A～Dの計)	E	6,968	10,900	11,502	12,192	13,859	18,000
支出	指定事業費	F	7,462	9,044	9,376	9,307	10,627	10,820
	内、人件費	G	3,254	3,494	3,695	4,781	5,008	5,070
	内、修繕費	H	458	307	420	165	157	600
	内、再委託料	I	1,123	1,382	1,263	1,345	1,279	1,600
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	275	98	107	175	230	150
	支出計(F+K)	L	7,737	9,142	9,483	9,482	10,857	10,970
使用料収入(市へ直接収納)		M	0	0	0	0	0	0
減免金額		N	436	827	701	0	0	0
事業収支		E-L	-769	1,758	2,019	2,710	3,002	7,030
利用料金収入比率		B/E	54.8%	70.5%	71.8%	73.2%	76.0%	83.3%
人件費比率		G/L	42.1%	38.2%	39.0%	50.4%	46.1%	46.2%
使用料収入比率		M/*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率		N/*2	10.2%	9.7%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・*1は、 $(E + M)$ とする。
- ・*2は、 $(B + N)$ 又は、 $(M + N)$ とする。

○補足説明
(必要に応じて記述)

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法令遵守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再委託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管理運営記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利用料金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個人情報保護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情報公開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安全管理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊急時対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《総括》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛生管理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利用者対応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事業運営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広報活動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《総括》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収支状況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経費縮減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財務状況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《総括》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	8	回
		管理運営協議回数	30	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) 年間を通して、日本遺産村上海賊を意識したPRに努めています。 今年度から開始された全国の日本遺産を周って集める、「ご周印」の押印数が全国で第4位になり、その成果を上げる為に努力している方策等が日本観光振興協会のオンライン会議で、発表されました。 ご周印帳の販売数も多く、実績に貢献しています。 樹木の手入れや、看板等も充実させて来場者の方に気持ちよく、分かり易くご案内出来るように日々注力しています。 課題としては、本丸城内のガイドシステムの導入が進んでいないことです。 (所管評価) 年間通じて対前年度比の来場者数も向上し年間117%増となった。これはコロナウイルス感染症による減少前(令和元年度)までの水準に回復しており、指定管理者による広報や魅力的な企画展や物販などの取り組みの成果であると評価する。 また事務手続きについても、長年の知識の蓄積から適切に処理を行っていると評価する。引続き適切に処理するように連絡を取り合い確認を行っていく。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 15 ）

公 の 施 設 の 名 称		因島漁船等巻揚施設			
所 在 地		尾道市因島土生町1752-12地先			
指 定 管 理 者	団体名	因島市漁業協同組合			
	所在地	尾道市因島土生町256-6			
指 定 期 間		令 和 7 年 4 月 1 日 ～ 令 和 12 年 3 月 31 日			
選 定 方 法		☐ 公 募	☒ ○	☐ 非 公 募	
料 金 制 導 入 区 分		☒ ○	☐ 利用料金	☐ 使用料(市へ直接収納)	☐ 無料施設
評 価 年 度		指定期間 5 年のうち 1 年目			
施 設 設 置 目 的		漁船等の安全な操業と維持管理を図るために計画的な整備、補修等を行う場を提供し、漁業経営の安定等に資するため			
主 な 実 施 事 業		巻揚施設の管理運営			

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	利用者数	人	200	135	200	126	200	130	200	107	150	118	150	
②														
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	0	0	0	0	0	0
	利用料金収入	B	576	475	530	460	495	550
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	0	0	0	0	0	0
	収入計(A～Dの計)	E	576	475	530	460	495	550
支出	指定事業費	F	468	440	470	524	453	500
	内、人件費	G	0	0	0	0	0	0
	内、修繕費	H	468	440	470	524	453	500
	内、再委託料	I	0	0	0	0	0	0
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F＋K)	L	468	440	470	524	453	500
使用料収入(市へ直接収納)			M	0	0	0	0	0
減免金額			N	0	0	0	0	0
事業収支			E－L	108	35	60	42	50
利用料金収入比率			B／E	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人件費比率			G／L	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
使用料収入比率			M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率			N／*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を記入しているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E＋M)とする。 ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	—	—
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	—	—
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設21項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	—	—
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	—	—
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	—	—
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設6項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	3	回
		管理運営協議回数	4	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) 運営管理は、適切に処理しており利用者から良い評価を受けている。
	(所管評価) 令和7年度は大きな修繕もなく、年間を通じて利用されている。 運営管理については適切に処理されている。
前 年 総 合 評 価	A
総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	A（良好）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	B（課題含）	=	協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
	C（要改善）	=	協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）	=	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）	=	《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 16 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道ふれあいの里					
所 在 地		尾道市御調町高尾1369					
指 定 管 理 者	団体名	株式会社みつぎ交流館					
	所在地	尾道市御調町大田33					
指 定 期 間		令 和 7 年 4 月 1 日 ～ 令 和 12 年 3 月 31 日					
選 定 方 法		○	公 募			非 公 募	
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金			使用料(市へ直接収納)	無料施設
評 価 年 度		指定期間		5	年のうち		1 年目
施 設 設 置 目 的		宿泊研修、野外活動を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、憩いと安らぎの場の提供等により青少年から高齢者まで各世代にわたる健康の増進を図り、もって住民福祉の向上に資するため					
主 な 実 施 事 業		尾道ふれあいの里の管理運営。日帰り温泉・食事・宴会・宿泊・研修等					

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	入浴者数	人	65,000	79,074	80,000	89,243	95,000	99,737	100,000	106,785	105,000	106,269	107,000	
②	温泉宴会パック利用者数	人	200	252	300	798	1,000	1,918	1,500	2,173	2,000	1,889	2,000	
③	日帰り宴会利用者数	人	350	329	450	842	1,000	1,546	1,200	1,744	1,500	1,249	1,500	
④	宿泊者数	人	10,000	14,982	15,000	24,323	25,000	26,583	25,000	27,157	27,000	28,289	28,500	
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況 (単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	0	0	0	0	0	0
	利用料金収入	B	214,750	336,210	381,929	403,850	427,894	410,000
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	50,308	13,451	2,808	4,577	4,315	4,600
	収入計(A～Dの計)	E	265,058	349,661	384,737	408,427	432,209	414,600
支出	指定事業費	F	275,460	344,412	368,985	405,434	420,566	410,000
	内、人件費	G	112,056	119,406	127,488	142,236	145,836	146,000
	内、修繕費	H	4,209	4,738	4,998	6,851	7,068	7,000
	内、再委託料	I	27,225	31,120	30,887	30,404	32,805	30,000
	内、施設使用料	J	0	0	4,545	11,010	8,235	10,000
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F＋K)	L	275,460	344,412	368,985	405,434	420,566	410,000
使用料収入(市へ直接収納)			M	0	0	0	0	0
減免金額			N	0	0	0	0	0
事業収支			E－L	-10,402	5,249	15,752	2,993	11,643
利用料金収入比率			B／E	81.0%	96.2%	99.3%	98.9%	99.0%
人件費比率			G／L	40.7%	34.7%	34.6%	35.1%	34.7%
使用料収入比率			M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率			N／*2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E＋M)とする。 ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法令遵守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再委託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管理運営記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利用料金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個人情報保護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情報公開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安全管理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊急時対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《総括》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛生管理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利用者対応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事業運営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広報活動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《総括》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収支状況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経費縮減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財務状況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《総括》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	6	回
		管理運営協議回数	12	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価)		
	当温泉施設では、フロント・清掃・レストランスタッフなど複数の職種で求人を継続していた成果があり全ての課に人員を配置できた。 宿泊においては、コロナ以降も順調に前年度を毎年塗り替えていくほどの人数を継続している。 接客が以前よりよくなったことで、クレームは少なくなった。		
	(所管評価)		
	温浴、宿泊、食事等のサービスを提供し年間約13万人もの利用者がいる当施設は、本市北部地区における福祉・観光関連施設として青少年の健全育成、高齢者福祉の推進及び関係人口の増加に貢献している。 令和7年度の施設利用者は前年度より、163人減（前年比99.9%）、売上は、24,044,670円増（前年比106.0%）となり、コロナ禍以前の状況に近づきつつある。 令和7年1月から12月における広島県全体の観光客は、前年比100%（令和元年比97%）、宿泊客は前年比97%（令和元年比101%）となっており、広島県の利用客と同程度の水準で回復している。 引き続き、物価高騰の影響や施設の経年劣化の対応が求められる。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 17 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市瀬戸田サンセットビーチ							
所 在 地		尾道市瀬戸田町垂水1506－15							
指 定 管 理 者	団体名	株式会社ＴＭ産業							
	所在地	尾道市瀬戸田町鹿田原35－5							
指 定 期 間		令 和 6 年 4 月 1 日 ～ 令 和 11 年 3 月 31 日							
選 定 方 法		○	公 募			非 公 募			
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金			使用料(市へ直接収納)			無料施設
評 価 年 度		指定期間		5	年のうち		2	年目	
施 設 設 置 目 的		市民の福祉増進を図り、野外スポーツ活動及び海洋スポーツ活動を通じて、交流の場として地域の発展向上を目的とする							
主 な 実 施 事 業		(1)サンセットビーチの施設及び広島県海岸環境整備事業に係る海浜施設(以下「附属施設」という。)の管理運営に関する事業 (2)野外・海浜スポーツレクリエーションの振興に関する事業 (3)その他設置目的達成に必要な事業							

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	施設利用者	千人	100	66	100	116	128	166	160	173	160	174	170	
②	海浜施設	千人	70	38	71	71	75	107	115	112	115	112	115	
③	広場	千人	1	0.1	1	2.0	12	16	17	16	17	13	17	
④	飲食	千人	10	7	10	16	13	18	19	16	17	14	17	
⑤	物販	千人	4	3	3	6	5	7	7	12	12	16	12	

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	18,333	18,333	18,333	18,000	18,000	18,000
	利用料金収入	B	2,850	3,602	3,178	3,710	3,541	3,989
	自主事業収入	C	18,880	29,991	31,026	30,490	32,216	33,333
	その他	D	3,689	2,895	1,724	1,886	1,637	1,443
	収入計(A～Dの計)	E	43,752	54,821	54,261	54,086	55,394	56,765
支出	指定事業費	F	27,183	33,023	33,833	35,550	31,930	32,775
	内、人件費	G	12,597	15,957	18,458	21,880	18,887	19,000
	内、修繕費	H	130	76	69	125	67	240
	内、再委託料	I	1,084	1,084	765	803	764	815
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	15,030	20,032	22,722	21,210	20,325	21,000
	支出計(F＋K)	L	42,213	53,055	56,555	56,760	52,255	53,775
使用料収入(市へ直接収納)			M	0	0	0	0	0
減免金額			N	23	124	488	487	487
事業収支			E－L	1,539	1,766	－2,294	3,139	2,990
利用料金収入比率			B／E	6.5%	6.6%	5.9%	6.9%	7.0%
人件費比率			G／L	29.8%	30.1%	32.6%	38.5%	35.3%
使用料収入比率			M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率			N／*2	0.8%	3.3%	5.0%	11.6%	10.9%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E＋M)とする。 ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	B	B
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	B
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	25	回
		管理運営協議回数	11	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価)		
	利用者に「訪れてよかった」「また訪れたい」と感じていただける施設を目指し、清掃や植栽管理などの施設管理を適切に実施するとともに、通常業務や自主事業の運営、親切・丁寧な接客に努めました。その結果、多くの利用者に快適にご利用いただけたものと考えています。 今年度の総利用者数は、昨年度に引き続きインバウンド観光客（サイクリング利用者）の増加により微増となりました。一方で、レストラン、キャンプ、マリンスポーツの利用者数は微減となりました。 収支状況については、人件費の見直しなどコスト管理徹底の取り組み、自主事業収入の増加により、若干の黒字を確保することができました。		
	(所管評価)		
	管理運営については、労働基準監督署による定期調査により労働基準法違反が発覚し、是正勧告を受ける事態を招いた。労基法第32条外の違反、及び事態発生から市への報告までに約4週間を要するなど報告・連絡体制の不備は大きな課題である。一方で指摘事項に対して迅速に対応し、再発防止策を策定するなど業務改善に向けた真摯な姿勢は認められる。 収支状況については、施設利用者が目標値を上回り、自主事業収益の増加や経費の見直しを行った結果、3年ぶりの黒字決算へと改善した点は高く評価できる。今後は一部で微減傾向が見られる事業について、要因の把握・分析を徹底されたい。またSNSによるこまめな情報発信など効果的な周知を展開し、さらなる認知度向上と来場者増に積極的に取り組むことを期待する。		
前年総合評価	A	総合評価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 18 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市御調グラウンド・ゴルフ場			
所 在 地		尾道市御調町綾目1929番地1			
指 定 管 理 者	団体名	株式会社みつぎ交流館			
	所在地	尾道市御調町大田33			
指 定 期 間		令 和 6 年 4 月 1 日 ～ 令 和 11 年 3 月 31 日			
選 定 方 法		○	公 募		非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金		使用料(市へ直接収納) 無料施設
評 価 年 度		指定期間 5 年のうち 2 年目			
施 設 設 置 目 的		グラウンド・ゴルフを通じて、住民の心と身体の総合的な維持及び増進に寄与するために設置する			
主 な 実 施 事 業		尾道市御調グラウンド・ゴルフ場の管理運営			

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	入場者数	人	15,000	9,809	15,000	14,721	16,000	13,250	15,000	11,791	13,000	11,528	11,800	
②	年間券購入者数	人	200	103	200	200	220	175	200	158	200	151	200	
③	用具貸出者数	人	800	606	800	828	800	687	800	865	850	985	900	
④	身障者利用者数	人					900	697	800	725	750	586	600	
⑤	市内高校生以下利用数	人					60	22	50	42	50	59	60	

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	3,700	3,700	3,700	5,470	5,470	5,470
	利用料金収入	B	2,016	2,400	2,235	2,477	2,379	2,400
	自主事業収入	C	0	0	0	0	0	0
	その他	D	51	19	56	35	14	15
	収入計(A～Dの計)	E	5,767	6,119	5,991	7,982	7,863	7,885
支出	指定事業費	F	6,477	6,527	7,057	7,096	7,354	7,500
	内、人件費	G	0	0	0	0	0	0
	内、修繕費	H	47	0	209	34	0	50
	内、再委託料	I	6,430	6,527	6,847	7,062	7,354	7,450
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	0	0	0	0	0	0
	支出計(F＋K)	L	6,477	6,527	7,057	7,096	7,354	7,500
使用料収入(市へ直接収納)		M	0	0	0	0	0	0
減免金額		N	344	510	400	430	366	380
事業収支		E－L	-710	-408	-1,066	886	509	385
利用料金収入比率		B/E	35.0%	39.2%	37.3%	31.0%	30.3%	30.4%
人件費比率		G/L	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
使用料収入比率		M/*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率		N/*2	14.6%	17.5%	15.2%	14.8%	13.3%	13.7%

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を上げているため合計額とはならない。
- ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・*1は、(E＋M)とする。
- ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。

○補足説明
(必要に応じて記述)

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	12	回
		管理運営協議回数	4	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) 夏場の暑さにより6月～9月までの利用者数が年々減少してきております。 利用者増加の対策として、SNSでの周知を引き続き行います。高齢者層以外にも柔軟に情報を発信し利用者増加を進めていきます。 また平行して、市内外の常連の利用者も引き続き確保するために月例交歓大会運営、要望への対応、芝管理、施設の改善等など密に行い気持ちよく利用して頂く事に努めます。 (所管評価) チラシやSNSを活用した周知や月例大会の継続開催により、年間の事業収支も黒字となっており、安定した施設の管理運営を担っている。 気候や競技人口の減少による利用者数の減少が課題だが、引き続き、チラシやSNSを活用した周知をお願いしたい。 今後、物価高騰や下水道使用料改定による支出の増加が想定されるため、収支状況に注視したい。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S	(優良)	＝	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	A	(良好)	＝	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	B	(課題含)	＝	協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
	C	(要改善)	＝	協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S	(優良)	＝	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A	(良好)	＝	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S (優良) 以外】
	B	(課題含)	＝	評価基準がすべてB以上である。【上記 S (優良)、A (良好) 以外】
	C	(要改善)	＝	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S	(優良)	＝	《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A	(良好)	＝	《総括》がすべてA以上である。【上記 S (優良) 以外】
	B	(課題含)	＝	《総括》がすべてB以上である。【上記 S (優良)、A (良好) 以外】
	C	(要改善)	＝	《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 19 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市長者原スポーツセンター						
所 在 地		尾道市高須町985-25						
指 定 管 理 者	団体名	公益社団法人尾道市シルバー人材センター						
	所在地	尾道市久保町1701-1						
指 定 期 間		令 和 7 年 4 月 1 日 ～ 令 和 12 年 3 月 31 日						
選 定 方 法		○	公 募			非 公 募		
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金			使用料(市へ直接収納)		無料施設
評 価 年 度		指定期間		5	年のうち		1	年目
施 設 設 置 目 的		スポーツの普及振興により市民の健康づくりの増進を図るため						
主 な 実 施 事 業		屋内運動場(アリーナ)、トレーニングジム、会議室、研修室、テニスコートの貸出業務及び自主事業としてヨガ教室						

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	施設利用料収入	千円	13,100	8,579	13,200	11,746	13,300	11,496	13,400	11,602	12,900	12,134	12,900	
②	利用者数	人	92,000	44,570	92,000	58,303	92,000	73,857	92,000	76,772	92,000	81,459	92,000	
③														
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	10,501	10,501	10,501	10,501	13,504	13,504
	利用料金収入	B	8,433	11,456	11,267	11,404	11,875	12,180
	自主事業収入	C	147	290	229	198	258	720
	その他	D	561	1,009	646	693	663	600
	収入計(A～Dの計)	E	19,642	23,256	22,643	22,796	26,300	27,004
支出	指定事業費	F	21,264	23,573	23,306	24,033	24,766	26,428
	内、人件費	G	9,166	9,948	10,461	10,576	11,195	10,897
	内、修繕費	H	522	469	773	519	370	1,473
	内、再委託料	I	4,181	3,643	3,822	3,822	3,996	4,244
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	174	294	301	282	350	576
	支出計(F＋K)	L	21,438	23,867	23,607	24,315	25,116	27,004
使用料収入(市へ直接収納)			M	0	0	0	0	0
減免金額			N	661	857	822	762	0
事業収支			E－L	-1,796	-611	-964	-1,519	0
利用料金収入比率			B／E	42.9%	49.3%	49.8%	50.0%	45.1%
人件費比率			G／L	42.8%	41.7%	44.3%	43.5%	40.4%
使用料収入比率			M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率			N／*2	7.3%	7.0%	7.0%	6.7%	0.0%
・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。 ・着色セルは、自動計算としている。 ・*1は、(E＋M)とする。 ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。								
○補足説明 (必要に応じて記述)								

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法令遵守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再委託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管理運営記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利用料金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個人情報保護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情報公開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安全管理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊急時対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《総括》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛生管理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利用者対応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事業運営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広報活動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《総括》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収支状況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経費縮減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財務状況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《総括》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	20	回
		管理運営協議回数	4	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) これまで市が主催していた市民カローリング大会を令和7年度（令和8年3月実施）から、シルバー人材センターの主催で実施した。 来館者の利便性を高めるため、令和7年度中にウォーターサーバー及びデジタルサイネージを郵宣協会からの貸与として設置した。 令和7年度において、テニスコート横に簡易トイレを設置するなど、必要に応じて施設改修を実施しているが、引き続き、所管部署と協議を行い、利用者の安全性や利便性等により優先順位をつけながら必要な改修や物品の購入等を行い、利用者に安心・安全な施設運営に努めたい。		
	(所管評価) 指定管理者主催として初めてとなる市民カローリング大会を開催するなど、新たな自主事業に取り組んだ。今後も施設の利用促進等に資する自主事業に取り組んでいただきたい。 広報おのみちを活用した事業周知は実施していただいているが、施設ホームページがなく日常的に施設利用する利用者以外には認知されにくいと思われる。ホームページを活用した周知に取り組んでいただきたい。 施設自体は老朽化により修繕箇所が多くなり管理運営に苦慮していると思われるが、所管課としても指定管理者と連携し、安全安心な施設運営に努めたい。		
前年総合評価	A	総合評価	A

※評価区分

評価基準：	S （優良） ＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A （良好） ＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B （課題含） ＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C （要改善） ＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S （優良） ＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A （良好） ＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B （課題含） ＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C （要改善） ＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S （優良） ＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A （良好） ＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B （課題含） ＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C （要改善） ＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

1 評価対象施設（施設No. 20）

2 利用状況（目標と実績）

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・*1は、(E+M)とする。
- ・*2は、(B+N)又は、(M+N)とする。

○補足説明
(必要に応じて記述)

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	B	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	20	回
		管理運営協議回数	2	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) 近年、全国的な夏季の猛暑・気温上昇に伴い、当施設においても最繁忙期である夏のキャンプ利用者が減少傾向にあることが大きな課題となっております。そのため、2026年3月より大手キャンプ予約サイト「なっぷ」を新たに導入いたしました。 自主事業においては、当施設の強みを生かしたマリンスポーツ（SUP等）を精力的に実施し、多くの参加者を迎えることができました。今後も新たなマリンスポーツの企画・実施に挑戦し、当市における関係人口の創出に注力してまいります。 また、毎年恒例となっている「マルシェ」の開催を継続し、地域住民や事業者とのつながりをさらに広げ、コミュニティの活性化にも寄与いたしました。 施設・環境管理の面では、施設内の適切な植栽管理や施設に隣接する砂浜において、週1回の定期的なゴミ拾い（環境美化活動）を徹底し、海洋環境の保全と美しい景観の維持に努めております。お客様の利用満足度をさらに高めるため、売店における新たなオリジナル商品等の開発・充実に継続して取り組んでまいります。 (所管評価) マリンスポーツ体験メニューの実施、売店の充実、マリンマルシェの開催といった自主事業の充実や予約システム導入といった利用者の利便性向上に取り組んでいる。 夏季の気温上昇による利用者数の減少は課題であるが、尾道市マリンスポーツ推進事業（尾道海属）と連携した事業実施や施設の安全な管理運営に取り組んでいただき、利用促進に繋げてもらいたい。		
	前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価

※評価区分

評価基準：	S（優良）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	A（良好）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	B（課題含）	=	協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
	C（要改善）	=	協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）	=	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）	=	《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 21 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市瀬戸田町B & G海洋センター			
所 在 地		尾道市瀬戸田町林19-5			
指 定 管 理 者	団体名	特定非営利活動法人フレンド・シップせとだ			
	所在地	尾道市瀬戸田町瀬戸田535-1			
指 定 期 間		令 和 6 年 4 月 1 日 ～ 令 和 11 年 3 月 31 日			
選 定 方 法			公 募	○	非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金		使用料(市へ直接収納)
評 価 年 度		指定期間	5	年のうち	2 年目
施 設 設 置 目 的		「青少年の健康育成及びスポーツレクリエーション振興」を行うため			
主 な 実 施 事 業		施設運営管理。体育館、プール利用者の受付業務。B&G主催の各大会。健康体操教室、水泳教室、アクアビクス教室、吹矢教室、ウォーキング、水の安全教室、BGまつりなどの事業の開催			

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	体育館稼働率	%	50	30	50	38	50	40	50	31	50	27	50	
②	体育館利用者人数	人	15,000	7,117	15,000	11,244	15,000	11,128	15,000	9,308	15,000	8,986	15,000	
③	プール利用者人数	人	5,500	465	5,500	763	5,500	2,770	5,500	3,043	5,500	2,581	3000	
④														
⑤														

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収 入	指定管理料	A	8,109	8,109	8,109	8,786	8,786	8,786
	利用料金収入	B	394	717	600	623	615	750
	自主事業収入	C	69	490	118	198	174	150
	その他	D	30	35	0	222	98	151
	収入計(A～Dの計)	E	8,602	9,351	8,827	9,829	9,673	9,837
支 出	指定事業費	F	7,892	9,392	9,716	9,700	9,343	9,617
	内、人件費	G	3,706	3,928	5,489	5,586	5,284	5,200
	内、修繕費	H	147	108	117	139	64	150
	内、再委託料	I	1,032	1,434	259	648	665	700
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	149	666	111	101	230	220
	支出計(F＋K)	L	8,041	10,058	9,827	9,801	9,573	9,837
使用料収入(市へ直接収納)		M	0	0	0	0	0	0
減免金額		N	230	369	431	242	242	200
事業収支		E－L	561	-707	-1,000	28	100	0
利用料金収入比率		B/E	4.6%	7.7%	6.8%	6.3%	6.4%	7.6%
人件費比率		G/L	46.1%	39.1%	55.9%	57.0%	55.2%	52.9%
使用料収入比率		M/*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率		N/*2	36.9%	34.0%	41.8%	28.0%	28.2%	21.1%

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を上げているため合計額とはならない。
- ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・*1は、(E＋M)とする。
- ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。

○補足説明
(必要に応じて記述)

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	30	回
		管理運営協議回数	10	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価)		
	瀬戸田B&G海洋センターの指定管理受託12年目の事業になった。「瀬戸田B&G海洋センター」を拠点に「いつでも どこでも 誰もがいつまでも気軽にスポーツ・文化活動に親しめる環境づくり」を目指し活動してきた。体育館の一般利用者、定期利用団体も減少したことにより、利用料金は減少した。トレーニングルーム（無料）は前年度より利用者が年間を通して500人程度増えている。プールは通常通り7月8月の日中・夜間とも開館できた。しかし、小学生の無料開放については学校の方針により、毎年「熱中症警戒アラート」により中止になることが多く、今年度は開催しないこととなった。小学生の水泳教室は指導者の確保も十分出来て、安全に楽しく教室を開催することができた。記録会も開催し、大変盛り上がり、自分の記録を残すことができた。小学生を対象とした水辺の安全教室では「自分の命は自分で守る」ための実践的な知識を学び、カヌー教室も開催した。健康体操は通常通り開催できた。ウォーキングバスツアーも年2回開催し、会員の交流を深めることができた。BGたよりFSS航海便りを通して情報発信をし、安心して参加出来る教室を企画して沢山の方がスポーツ・文化活動に親しめるよう運営していきたいと思います。		
前年総合評価	(所管評価)		
	瀬戸田地域におけるスポーツ人口の減少や熱中症アラートによるプール開放中止などはあったが、安全安心に施設を管理運営していただいた。引き続き、安全安心な管理運営に尽力していただきたい。 また、懸案であったB&Gインストラクター指導員の配置については、令和7年度途中から配置することができた。艇庫は廃止したが、残る体育館やプールを活用し施設の設置目的である青少年の健全育成やスポーツレクリエーション振興により一層取り組んでいただきたい。		
	A	総合評価	A

※評価区分

評価基準：	S （優良） ＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A （良好） ＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B （課題含） ＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C （要改善） ＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S （優良） ＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A （良好） ＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が 8 割以上である。【上記 S （優良）以外】 B （課題含） ＝ 評価基準がすべて B 以上である。【上記 S （優良）、A （良好）以外】 C （要改善） ＝ 評価基準にCが 1 つでも含まれる。
総合評価：	S （優良） ＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A （良好） ＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S （優良）以外】 B （課題含） ＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S （優良）、A （良好）以外】 C （要改善） ＝ 《総括》にCが 1 つでも含まれる。

1 評価対象施設（施設No. 22）

2 利用状況（目標と実績）

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・*1は、 $(E + M)$ とする。
- ・*2は、 $(B + N)$ 又は、 $(M + N)$ とする。

○補足説明
(必要に応じて記述)

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法令遵守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再委託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管理運営記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利用料金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個人情報保護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情報公開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安全管理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊急時対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛生管理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利用者対応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事業運営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広報活動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収支状況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経費縮減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財務状況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	30	回
		管理運営協議回数	4	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価) 令和7年度の利用料金収入は、大きなイベント利用のあった令和6年度の水準には及びませんでしたが、コロナ禍後、利用者は順調に増え利用収入も増加してきています。 一方で支出面では、施設の老朽化に伴い修繕費が増加し前年度比で114.1%となるなど、費用負担が高まっています。 今後はホームページ等を積極的に活用して、各施設の稼働率の向上に努めてまいります。		
	(所管評価) 施設の老朽化や物価高騰等の懸念があるが、安定した施設の管理運営を担っている。 令和8年度は多目的グラウンド工事により長期間利用不可のため、利用料金が減少見込であるが、供用開始後を見据えて、利用しやすい環境整備や自主事業を検討いただきたい。 また、新たに開設するホームページも活用して、さらなる利用促進に繋げていただきたい。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	A（良好）	=	協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	B（課題含）	=	協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
	C（要改善）	=	協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）	=	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）	=	《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。
	A（良好）	=	《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】
	B（課題含）	=	《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】
	C（要改善）	=	《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 23 ）

公 の 施 設 の 名 称		尾道市立図書館及び尾道市芸予文化情報センター					
所 在 地		尾道市東久保町4番1号ほか					
指 定 管 理 者	団体名	N T T データ・啓文社・新和ビルサービス共同企業体					
	所在地	東京都江東区豊洲三丁目3番3号					
指 定 期 間		令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 12 年 3 月 31 日					
選 定 方 法		☐	公 募	☐	非 公 募		
料 金 制 導 入 区 分		☐	利用料金	☐	使用料(市へ直接収納)	☐	無料施設
評 価 年 度		指定期間 5 年のうち		1 年目			
施 設 設 置 目 的		図書、記録その他必要な資料を収集し、整理保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資すること					
主 な 実 施 事 業		図書館業務（カウンター業務、資料整理/管理業務、移動図書館車業務、相互貸借、行事/事業など）、施設及び設備の維持管理業務、自主事業の運営（物販、自動販売機など）					

2 利用状況（目標と実績）

成 果 指 標		単位	目標	R3年度	目標	R4年度	目標	R5年度	目標	R6年度	目標	R7年度	目標	R8年度
①	入館者数（全館）	人	364,685	308,375	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
②	貸出点数（全館）	点	540,740	635,430	807,000	784,408	807,000	783,193	807,000	760,814	766,400	738,986	766,400	
③	利用者満足度	%	90.0	93.0	90.0	92.7	90.0	94.2	90.0	93.4	90.0	93.9	90.0	
④	電子図書館 貸出点数	点	-	-	53,000	53,198	53,000	42,583	53,000	38,988	-	-	-	
⑤	賑わい創出のためのイベント	回	-	-	550	575	550	621	550	669	550	695	550	

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	192,061	194,061	193,181	191,854	252,400	250,400
	利用料金収入	B	655	687	977	1,025	1,083	462
	自主事業収入	C	431	598	642	637	588	528
	その他	D	0	0	0	0	0	0
	収入計(A～Dの計)	E	193,147	195,346	194,800	193,516	254,071	251,390
支出	指定事業費	F	193,054	195,201	194,654	193,369	253,930	251,244
	内、人件費	G	92,287	92,268	92,285	92,345	99,135	99,876
	内、修繕費	H	1,923	2,000	2,000	2,000	2,352	2,000
	内、再委託料	I	25,078	27,299	27,348	27,581	30,436	30,544
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	93	145	146	147	141	146
	支出計(F＋K)	L	193,147	195,346	194,800	193,516	254,071	251,390
使用料収入(市へ直接収納)		M	0	0	0	0	0	0
減免金額		N	1,256	1,154	890	1,119	754	0
事業収支		E－L	0	0	0	0	0	0
利用料金収入比率		B／E	0.3%	0.4%	0.5%	0.5%	0.4%	0.2%
人件費比率		G／L	47.8%	47.2%	47.4%	47.7%	39.0%	39.7%
使用料収入比率		M／*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率		N／*2	65.7%	62.7%	47.7%	52.2%	41.0%	0.0%

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を記入しているため合計額とはならない。
- ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・*1は、(E＋M)とする。
- ・*2は、(B＋N)又は、(M＋N)とする。

○補足説明
(必要に応じて記述)

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	10	回
		管理運営協議回数	8	回

所 見 (成果、課題等)	(自己評価) 成果については、協定書に基づき、尾道市立図書館5館は、施設・設備を管理し、円滑な運用を行うことができた。令和7年度の利用状況については、入館者数394,884人で、前年度より0.7%増加した。地域ごとの文化的活性化を目指した5館総イベント数は695回実施し、前年より3.9%増加し、参加者からの満足度も高くなっている。 課題については、書籍等の貸出冊数は738,986冊で、前年比2.9%減となり、入館者増が貸出冊数の増加に結びつかなかった。多くの市民に読書の楽しさを伝える地道な取組みを強化していきたい。 (所管評価) 貸出点数は、目標値には届いておらず、前年度と比較して減少しているが、入館者数が前年度と比べ増加している。賑わい創出のためイベント回数を増やし、普段図書館を利用しない人が訪れたいくなるような工夫がなされている。 電子図書館については、貸出点数は減少しているが、前年度に引き続き市内小・中学校の児童・生徒を中心に多くの方に利用していただくことができた。 また、利用者の満足度は指定管理期間の1期目から通算して10年間、高い水準を維持しており、評価に値する。		
前 年 総 合 評 価	A	総 合 評 価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。

令和 7 年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設（施設No. 24）

公 施 設 の 名 称		平山郁夫美術館			
所 在 地		尾道市瀬戸田町沢200-2			
指 定 管 理 者	団体名	公益財団法人平山郁夫美術館			
	所在地	尾道市瀬戸田町沢200-2			
指 定 期 間		令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日			
選 定 方 法			公 募	○	非 公 募
料 金 制 導 入 区 分		○	利用料金		使用料(市へ直接収納)
評 価 年 度		指定期間	5	年のうち	5 年目
施 設 設 置 目 的		平山郁夫の作品及び作品に関する資料を収集し、保管し、併せて美術に関する普及活動及び情報活動を行い、もって教育・文化の振興を図る			
主 な 実 施 事 業		平山郁夫の絵画を中心に館内、館外で展覧会を開催し、併せて美術品や取材資料を公開している。平山郁夫の画業に関するセミナーや講演会を開催している。広く一般や子供を対象にした絵画教室や、絵画コンクールを実施している。美術館に親しんでいただくため、シルクロードに因んだ音楽を中心に館内にコンサートを開催している			

2 利用状況（目標と実績）

[illegible]

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位：千円)

区 分			R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	R8年度予算
収入	指定管理料	A	0	30,000	25,000	30,000	25,000	27,000
	利用料金収入	B	15,410	32,707	30,807	33,022	31,718	33,147
	自主事業収入	C	34,839	84,261	49,734	50,780	49,156	56,000
	その他	D	11,073	9,871	2,643	3,108	1,908	1,737
	収入計(A～Dの計)	E	61,322	156,839	108,184	116,910	107,782	117,884
支出	指定事業費	F	58,140	101,760	73,084	78,449	76,285	77,750
	内、人件費	G	22,350	28,230	31,823	26,011	28,503	36,524
	内、修繕費	H	3,493	89	153	912	172	285
	内、再委託料	I	0	0	0	0	0	0
	内、施設使用料	J	0	0	0	0	0	0
	自主事業費	K	27,549	38,647	34,675	37,184	36,224	39,873
	支出計(F+K)	L	85,689	140,407	107,759	115,633	112,509	117,623
使用料収入(市へ直接収納)		M	0	0	0	0	0	0
減免金額		N	720	1,392	1,300	1,362	1,402	1,400
事業収支		E-L	-24,367	16,432	425	1,277	-4,727	261
利用料金収入比率		B/E	25.1%	20.9%	28.5%	28.2%	29.4%	28.1%
人件費比率		G/L	26.1%	20.1%	29.5%	22.5%	25.3%	31.1%
使用料収入比率		M/*1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
減免金額比率		N/*2	4.5%	4.1%	4.0%	4.0%	4.2%	4.1%

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳をとり上げているため合計額とはならない。
- ・事業費は、当該年度及び過年度決算を記入する。また、最右欄には、次年度予算を記入する。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・*1は、 $(E + M)$ とする。
- ・*2は、 $(B + N)$ 又は、 $(M + N)$ とする。

○補足説明
(必要に応じて記述)

展覧会事業以外に、平山郁夫の画業に関する講演会等を開催している。また広く一般や子どもを対象とした絵画教室や絵画コンクールを実施している。その他、館内にて朗読会やコンサートを開催している。

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評 価 項 目		評 価 基 準	自己評価	所管評価
①実施体制に関する評価	法 令 遵 守	法令等に基づいた管理運営を行っている。	A	A
	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		協定書等に従い、施設、設備等を適切に維持管理している。	A	A
		備品を適切に管理している。	A	A
		施設、設備、備品等を正常に使用できる状態に保っている。	A	A
	人 員 体 制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を行っている。	A	A
	再 委 託	再委託の内容は、事前に市の承認を受けている。	A	A
	管 理 運 営 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	利 用 料 金	利用料金の額を適正に設定している。	A	A
		利用者からの料金徴収や現金管理等を適切に行っている。	A	A
	個 人 情 報 保 護	協定書等に従い、個人情報の取扱いを適切に行っている。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等について、必要な対策を講じている。	A	A
	情 報 公 開	協定書等に従い、情報公開の取扱いを適切に行っている。	A	A
	安 全 管 理	利用者の安全対策等について、適切な対策を講じている。	A	A
		利用者の安全を確保するため、適切な監視を行っている。	A	A
	緊 急 時 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時の対応について、必要な対策を講じ、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準23項目/本施設23項目】	A	A
②サービスの内容や水準に関する評価	衛 生 管 理	清掃、衛生管理を適切に行い、施設を清潔に保っている。	A	A
	利 用 者 対 応	利用に対する公平性の確保に努めている。	A	A
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	苦 情 等 対 応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
	環 境 配 慮	省エネルギー、省資源等の環境への配慮がなされている。	A	A
	事 業 運 営	自主事業内容が利用者サービスの向上に繋がっている。	A	A
	広 報 活 動	ホームページ等を活用し、施設の利用促進を図っている。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果を順次管理運営に反映している。	A	A
	利 用 状 況	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準9項目/本施設9項目】	A	A
③安定性の評価	経 理 事 務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	収 支 状 況	収入と支出のバランスを適切に保っている。	A	A
	経 費 縮 減	経費が縮減されている、又は縮減に向けた取組を行っている。	A	A
	財 務 状 況	決算書等により、対前年比で大幅な変動が無く、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	A
《参考》施設所管課のみ		実地調査回数	5	回
		管理運営協議回数	6	回

所見 (成果、課題等)	(自己評価)		
	令和7年度の入館者は41,508人であり、コロナ禍前の令和元年度と比べると63%の減となっている。当館はしまなみ海道周遊観光のルートにあるため、団体の誘客に引き続き取り組むと共に、個人旅行者や増加している外国人観光客の対応も進め、SNSなどにより積極的に展示内容や地域情報を発信し、入館者の1割増を目標に取り組んでいく。昨年度に引き続き「院展」を開催した。平山郁夫を知らない世代をはじめ、幅広い年齢層の来館があった。尾道市の春の文化行事として定着させたいと考えている。春は院展、秋は企画展、他は館蔵品を中心とした展示とし、経費の削減を図れるよう取り組んでいく。物価高騰の折から入館料の値上げも検討し、次回の展示までには確定したいと考えている。教育普及事業は、平山郁夫の「平和への思い」「次世代の子供達のために」を念頭におき、子どもを対象とした絵画教室やワークショップ、第19回となる平山郁夫美術館賞絵画コンクールを開催。社会教育事業は学芸員の展示解説、館外での講座を開催。大人を対象とした日本画教室、スケッチコンペ、コンサートを開催。画伯が亡くなられ16年が経過した。来年は開館30年になることから記念展も計画しており、また新たな30年に向けて取り組んでいく。		
前年総合評価	(所管評価)		
	令和7年度は、昨年度に引き続き「院展」を開催し、若手画家も多く出品する展覧会となり、幅広い年齢層の入館者につながった。今後も尾道の春の文化行事として定着するよう努めていただきたい。各種教室など教育普及事業にも力を入れ、各方面との連携強化により集客増を図るなど、健全な運営に向けた努力は大いに評価できる。引き続き、魅力的な展覧会の開催により来館者の増加に取り組むとともに、教育普及事業や絵画コンクールの継続的な開催、SNSを活用した積極的な情報発信により、新たな鑑賞者の発掘に繋がることを期待する。収益事業も順調に運営されており、さらなる売り上げの向上に向けた取組に期待する。		
前年総合評価	A	総合評価	A

※評価区分

評価基準：	S（優良）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。 A（良好）＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。 B（課題含）＝ 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 C（要改善）＝ 協定書、仕様書等を遵守していないため、要求水準を満たしていない。
《総括》：	S（優良）＝ 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 評価基準がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価：	S（優良）＝ 《総括》がすべてA以上であり、かつSが過半数である。 A（良好）＝ 《総括》がすべてA以上である。【上記 S（優良）以外】 B（課題含）＝ 《総括》がすべてB以上である。【上記 S（優良）、A（良好）以外】 C（要改善）＝ 《総括》にCが1つでも含まれる。